

iKO Project

魅力ある学校づくり ~iKO プロジェクト~

計画と達成基準

1

生徒一人ひとりの進路実現

学ぶ力の育成と学力の向上
授業改善による教師力の向上
統一した指導による規律ある生活態度の育成

教務課	園芸科
進路課	家政科
生徒課	

2

地域と連携したグローバル人材の育成

地域に学ぶ「総合的な学習の時間」の充実によるキャリア教育の推進
コミュニケーション力・プレゼンテーション力(表現力)の向上
英語力・英語コミュニケーション力の向上

教務課	園芸科
進路課	家政科
地域連携	英語科

3

部活動・農業クラブ・家庭クラブ活動の活性化

活動時間および部員数の確保
指導体制の充実
積極的な情報発信

教務課	園芸科
生徒課	家政科

4

安全で安心な学校生活の創造

落ち着いて学習できる環境づくり
生徒会・委員会活動の活性化
教育相談の充実

教務課	厚生課
生徒課	事務室

1 生徒一人ひとりの進路実現

学ぶ力の育成と学力の向上

学校自己評価

評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
 ⇒ (最高) 20.0, (最低) -20.0

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
--------	-------	--------------------

教務課

普通科

①途中成績(目安は第3回定期考査終了時点)を算出し、成績不振者や欠課時数超過のおそれがある者の一覧表を作り、職員会議等で示す。また、**該当生徒の個票をつくり学級担任に配布し、面談で活用できるようにする。**
 ②途中成績活用のシステム化をする。

①第4回定期考査および第5回定期考査の全学年の警告点数が前年を下回る。(昨年122)
 ②**全教科担任が関わる途中成績算出システムを構築できる。**

進路課

普通科

①進路LHR, 面談や集会等を通し学習の大切さを呼びかける。学習習慣(生活習慣)の定着を図るために、学習実態調査や学習計画表などを活用する。
 ②3年間を見通した教科指導・進路指導をする。基礎学力を定着させるために、授業を基本として、土曜活用、補習、休日学習会等を活用する。

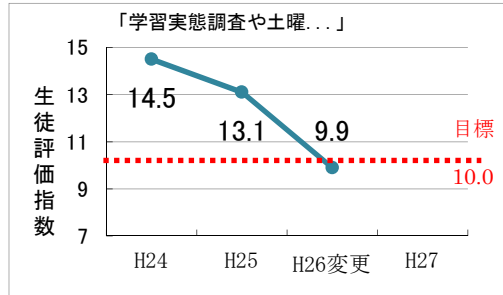
普通科

① 学習実態調査

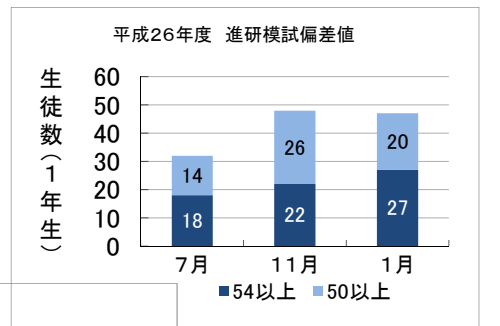
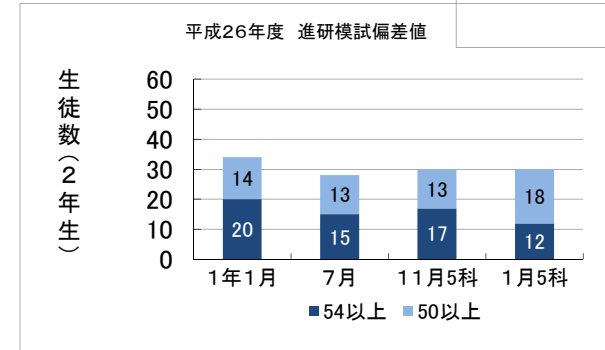
・1日の学習時間 **2時間未満の生徒数**
 1年 **25名以下** 2年 **15名以下**
 3年 **5時間以上の生徒を40%以上**(昨年 39%)(3年2回調査)

学校自己評価

「学習実態調査や土曜活用、学習会を通して学習習慣が身に付いている。」
生徒評価指数 10以上(昨年 9.9)



②1年生では、国公立大学に進学できる学力を持つ生徒(進研模試における**全国偏差値54以上**)およびそれに続く層(**全国偏差値50以上**)を増やす。
 2年生は**1年1月時の維持を目標**とする。
3年生は11月マークで全国偏差値48以上を30名以上にする。(昨年27名)



教務課 進路課

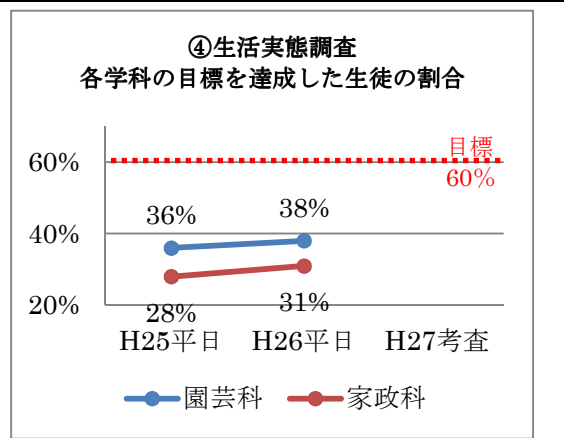
専門科

①漢字テスト, 計算力テストの年間平均点を各クラスで掲げ, お互い励まし合いながら目標を達成する。
 ②**学期毎に最優秀者を発表する。**
 漢字 100点
 計算力 90点
 ③**個人に優秀者シール台紙を配布し, 漢字100点, 計算力90点以上に優秀者シールを貼らせ, 意識の向上を図る。**
 ④**毎学期末考査期間中に生活実態調査を実施し, 考査に向けての学習意欲を高める。**

①②③昨年度の平均点を上回る平均を目標とする。

<漢字テスト>	<計算力テスト>
E1 65点	E1 60点
E2 80点 (昨年 76.3点)	E2 70点 (昨年 67.3点)
E3 90点 (昨年 86.2点)	E3 60点 (昨年 59.1点)
K1 90点	K1 80点
K2 90点 (昨年 84.3点)	K2 90点 (昨年 84.5点)
K3 98点 (昨年 96.7点)	K3 95点 (昨年 92.8点)

④ 生活実態調査
 3回の平均学習時間 各学科の達成した生徒の割合
園芸科...1.5時間以上 60% (昨年平日)
家政科...2.5時間以上 60% (昨年平日)



生徒課

○規則正しい生活を送らせるため, 勉強時間確保を考え, 携帯電話・スマホ使用時間を21:00時以降使用しないように, 集会などで呼びかける。

○ 生徒課アンケート

「携帯電話・スマホ使用時間を21:00時以降使用しない」の結果が, [守れた・だいたい守れた]で, 60%以上。

授業改善による教師力の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)																	
教務課	<p>普通科</p> <p>①授業評価アンケート結果から教員個々が改善目標を設定し、授業改善をはかるシステムを設定する。</p> <p>②授業評価アンケートの評価指数が高い項目を持つ教員に公開授業をお願いし、教員間の積極的な授業参観を図る。</p> <p>専門科</p> <p>○ICT機器の活用を促進し、さらにICT機器を利用した授業ができるよう、研修会を年2回以上開く。</p>	<p>学校自己評価</p> <p>普通科</p> <p>①「授業は、プリントやICT機器などを利用して、わかりやすいように工夫されている。」 生徒評価指数10以上(昨年8.3, 一昨年10.2)</p> <p>②「他の先生が授業を見学に来ることがよくある」生徒評価指数3以上(昨年2.0)</p> <p>専門科</p> <p>○「授業は、プリントやICT機器などを利用して、わかりやすいように工夫されている。」 生徒評価指数9以上(昨年8.2, 一昨年10.1)</p>	<p>授業の工夫(普通科)</p> <table border="1"> <caption>授業の工夫(普通科)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>10.2</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8.3</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>目標 10.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>授業の工夫(専門科)</p> <table border="1"> <caption>授業の工夫(専門科)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>10.1</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8.2</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>目標 9.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	評価指数	H25	10.2	H26	8.3	H27	目標 10.0	年度	評価指数	H25	10.1	H26	8.2	H27	目標 9.0
年度	評価指数																		
H25	10.2																		
H26	8.3																		
H27	目標 10.0																		
年度	評価指数																		
H25	10.1																		
H26	8.2																		
H27	目標 9.0																		
進路課	<p>専門科</p> <p>○教員研修として面接指導講習会を開催し、進路指導に役立ててもらう。</p>	<p>専門科</p> <p>○進路課アンケート 指導講習会に参加し(よかった, とても良かった)80%以上</p>																	
園芸科	<p>○ICTを活用した授業を行い、わかる授業を行う。</p>	<p>○専門学科生徒アンケート 「学習を助けるためのプリント、視聴覚教材を準備している」が「よくあてはまる」で80%以上(昨年78.5%)</p>																	

統一した指導による規律ある生活態度の育成

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)									
生徒課	<p>①学校内外で相手より先に気持ちのよい挨拶ができるよう、毎月10日を中心に挨拶運動を実施する。</p> <p>②統一した、服装指導を徹底する。しっかりと声掛けをし、違反している生徒はイエローカードにより段階的指導をする。</p> <p>③遅刻数を減少させるため、遅刻の多い生徒は個人指導を実施する。</p>	<p>① 生徒課アンケート 「挨拶が自主的にできた」が、[とても出来た・出来た]で、85%以上(昨年81.8%)</p> <p>② 生徒課アンケート 「制服がきちんと着こなせた」が、[きちんと着こなせた・着こなせた]で85%以上(昨年96.2%)</p> <p>③両校地の統一した基準(業間遅刻も加算)で450回以内(一昨年537回, 昨年435回)</p>	<p>遅刻数(生徒数561人)</p> <table border="1"> <caption>遅刻数(生徒数561人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>遅刻数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>537</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>435</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>目標 450</td> </tr> </tbody> </table>	年度	遅刻数	H25	537	H26	435	H27	目標 450
年度	遅刻数										
H25	537										
H26	435										
H27	目標 450										
教務課	<p>専門科</p> <p>○机の上に教材の準備をしてベル着をし、始業ベルとともに授業を開始できるよう指導する。</p>	<p>専門科</p> <p>○授業評価アンケート 「あなたは教材の準備をしてベル着ができていますか」85%以上(一昨年80%, 昨年84.8%)</p>	<p>教材の準備をしてベル着...</p> <table border="1"> <caption>教材の準備をしてベル着...</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>84.8%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>目標 85%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	達成率	H25	80.0%	H26	84.8%	H27	目標 85%
年度	達成率										
H25	80.0%										
H26	84.8%										
H27	目標 85%										
家政科	<p>○始業までに授業の準備を整えて、着席しておくよう指導する。</p>	<p>○授業担当者が始業時に確認を行い、「授業の準備を整えて着席することができる生徒」が80%以上</p>									
園芸科	<p>①授業の開始と終わりや実習(行事)時に気持ちの良い挨拶ができるよう指導する。</p> <p>②正しい服装・身だしなみで実習を行うように指導する。</p>	<p>専門学科生徒アンケート</p> <p>①「気持ちのいいあいさつができた」が「よくあてはまる」で80%以上(昨年78.6%)</p> <p>②「実習時に服装・身だしなみを整えた」が「よくあてはまる」で80%以上(昨年92.3%)</p>									

2 地域と連携したグローバル人材の育成

学校自己評価

地域に学ぶ「総合的な学習の時間」の充実によるキャリア教育の推進

評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
⇒ (最高) 20.0, (最低) -20.0

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
地域連携・進路課	<p>普通科</p> <p>○進路意識を明確にするために総合的な学習の時間の「企業訪問」「企業説明会」の事前・事後の指導を充実させる。</p>	<p>普通科</p> <p>○「企業訪問」「企業説明会」への事前・事後指導のスケジュール化およびシートの作成をし、評価アンケートを実施し、肯定的な評価 80%以上。</p>
家政科	<p>○地域連携を図り、専門の学びを生かした活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピーライフ講座 ・地域型福祉学習事業 ・井原デニムの研究 ・各種コンテスト ・井原高校ふれ愛まつり 	<p>○ 専門学科生徒アンケート</p> <p>「地域連携の活動をすることによって、専門的な知識や技術を広げることができた」が「非常によくあてはまる」「よくあてはまる」が <u>90%以上</u></p> <p>「地域連携の活動をすることによって、自分の進路について考えるきっかけになった」が「非常によくあてはまる」と「よくあてはまる」で <u>90%以上</u></p>

コミュニケーション力・プレゼンテーション力(表現力)の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
教務課	<p>普通科</p> <p>①LHR やさわやかタイム等で、プレゼンテーションやディベートの実施</p> <p>②「言語活動の充実」に関わる校内研究授業を各学期 1 回以上実施する。</p> <p>専門科</p> <p>○「いばらぶ」を充実させ、地域の見識を深め、自らの進路を考える契機とする。また、体験したことをまとめ、発表することで表現力の向上をめざす。</p>	<p>学校自己評価</p> <p>普通科</p> <p>①「LHR, さわやかタイム, 授業などを通じて、コミュニケーション力が身につけている」 評価指数 6.3 以上 (昨年 6.3)</p> <p>②研究授業参観教員数と研究協議参加教員数の計が昨年を上回る。(昨年 2 4)</p> <p>専門科</p> <p>○「ICT機器などを用いながら自分の調べたことや意見を発表する機会がある。」が 評価指数 5 以上 (昨年 4.2)</p>
地域連携・進路課	<p>普通科</p> <p>○「総合的な学習の時間」の学びについての発表会を実施し、自分の経験や学びを公の場できちんと発表できるようにする。</p>	<p>普通科</p> <p>○ 総合的な学習の時間のアンケート</p> <p>コミュニケーション力や表現力について問い、 肯定的な評価 80%以上。</p>
園芸科	<p>○交流授業や各種行事の事前、事後指導の際、ワークシートのまとめや発表会の充実を図る。(教科間連携も活用する。)</p>	<p>○ 専門学科生徒アンケート</p> <p>「行事や交流の準備を計画的に行い、実施後に反省・評価ができたか」が「できた」 80%以上 (昨年 71%)</p>

英語力・英語コミュニケーション力の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
地域連携・英語科	<p>普通科</p> <p>① 1年次に英検準2級、2年次に英検2級の合格を目指す。</p> <p>② 1年次の英語科のALTとの協同授業を利用して、英語でコミュニケーションを図る姿勢を培う。</p> <p>③英語スピーチコンテストや国際交流行事への積極的な参加を呼びかける。</p> <p>④地域からの指導者を招聘し、英語コミュニケーション力の向上を図り、各種コンテストに参加する。</p> <p>⑤英語コミュニケーション力の向上をはかる講演会等を実施する。</p>	<p>普通科</p> <p>① 1年次終了時点での準2級合格者が <u>10名以上</u>。2年次終了時点での2級合格者が <u>7名以上</u>。 (昨年度: 1年次準2級合格者数 9名, 2年次2級合格者数 5名)</p> <p>② 学校自己評価</p> <p>「学習した英語を用いて自らを表現できる機会を得ることができた。」1年生結果「非常にあてはまる」「よくあてはまる」で <u>80%以上 (昨年 60.6%)</u></p> <p>③④各種コンテストで 入賞する。</p> <p>⑤講演会等が実施できた。</p>

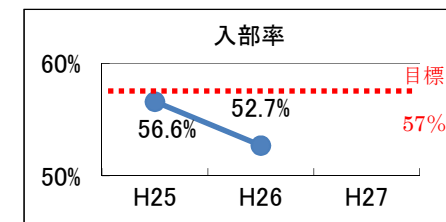
3 部活動・農業クラブ・家庭クラブ活動の活性化

学校自己評価

評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
 ⇒ (最高) **20.0**, (最低) **-20.0**

活動時間及び部員数の確保

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
生徒課	①活動時間を守らせるため、各学期に1回(5～7日程度)下校指導を実施する。 ②部活動入部率をあげるために、担任面談で働きかけたり、少人数の部活にもアピールの場をもうけて情報提供を促す。	① 生徒課アンケート <u>「下校時刻が守れましたか」「守れた、だいたい守れた」が85%以上</u> ②入部率 57%以上(一昨年56.6%, 昨年52.7%)



指導体制の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
生徒課	○部活動の日を設けて、部活動の活性化を図る。	○県ベスト16以上の成績の増加。
家政科	○あいさつ運動を活性化するために、家庭クラブ役員が、あいさつ運動の状況を調査し、あいさつ運動の呼びかけを行うよう指導する。	○ 専門学科生徒アンケート 「自主的に気持ちのよいあいさつができた」が「非常によくあてはまる・よくあてはまる」で80%以上 ○ 家庭クラブ役員調査 「あいさつ当番が積極的にあいさつをしている」が「非常によくできている」と「よくできている」80%以上

積極的な情報発信

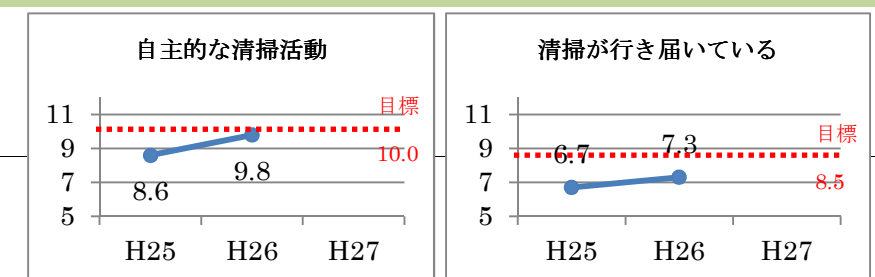
担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
教務課	○HPのリンクの整理や、古いページの削除をさらに推進するために教職員に呼びかけをする。 普通科	○リンクの設定を見直したり、長く更新されていないページ等は削除したりして、最近の情報のみが見えるHPになる。(H26 一部不十分)
生徒課	○部活動ホームページを充実させるために、総体関係の写真を撮影してもらい、1回目は6月末までに更新をする。	○全部活動が 年間2回は活動内容を更新する。
園芸科	①学校行事での 活動紹介ポスター、活動パネルの製作と展示 をする。 ②農ク新聞を発行し、積極的に活動状況を発信する。 ③Webページのアップと更新	○複数の塾訪問や 複数の塾との懇談会を実施 する。(H26 塾訪問1塾3回, 懇談会1塾1回実施) ①地域ふれあい市、いろは祭、ふれ愛まつり等での パネル展示ができた。 ②農ク新聞(年間5回)を発行した。 ③Webページによる発信を 年間20回以上 行い、学科ページを更新できた。

4 安全で安心な学校生活の創造

落ち着いて学習できる環境づくり

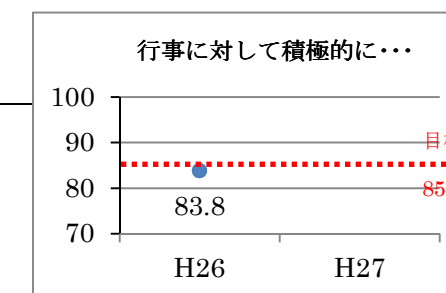
学校自己評価
評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
 ⇒ (最高) **20.0**, (最低) **-20.0**

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
厚生課	○生徒が 主体的に 清掃活動に取り組むために、呼びかけたり、委員会活動を推進したりする。	○ 学校自己評価 「生徒が清掃活動に主体的に取り組んでいる」 生徒評価指数 10.0 以上 (昨年 9.8) 「校内は清掃が行き届いておりきれいな状態である」 生徒評価指数 8.5 以上 (昨年 7.3)
事務室	○両校地の「耐震補強工事」における危険な状態の有無について随時点検をし、危険箇所を早期発見することにより、生徒・職員に注意を促す。	○耐震工事に係わる生徒職員の 事故災害や苦情が0 である。



生徒会・委員会活動の活性化

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
教務課	①生徒が関わる図書だよりの発行回数を増やす。 ②図書委員会主催読書会や読書LHRの回数を増やす。 普通科 ○読書週間を設け、図書委員の活動を活性化し、生徒の図書館利用を増やす。	①図書日より 発行回数8回以上(昨年 普通科6回 専門科7回) ②図書委員会主催読書会、読書LHRの 実施回数がともに2回以上 普通科 ○読書週間中のさわやかタイムで朝読書が実施できる。
生徒課	①生徒会・各種委員会活動を活性化させる。[体育祭・いろは祭等の盛り上げ] [挨拶運動への積極的な参加] ②生徒会活動を知らせるために、 生徒会・委員会新聞の発行 を行う。	① 生徒課アンケート 「行事に対し積極的に参加できた」「たいへん出来た・出来た」が 85%以上(昨年 83.8%) ② 年間5回の発刊
厚生課	委員会活動を活性化 ① 厚生委員会 学期1回の清掃用具の点検、清掃状況点検、清掃ボランティア参加の呼びかけ、 清掃啓発ポスターの作成・掲示 ② 保健委員会 保健便りを当番制で月1回発行する。 専門科 ○生活委員会 ・教室の掲示物の整理を呼びかける。 ・購買での 販売物品アンケート を実施する。	①・清掃状況点検を年2回以上実施し、清掃重点箇所の清掃を呼びかけた。 ・ポスターを作成し、各クラスへ掲示する。 清掃状況点検などを通じて、清掃の意義を全校へ訴えることができた。 ② 保健便りを毎月発行した。 専門科 ○・教室の掲示物の整理が行われた。 ・販売物品アンケート を実施できた。



教育相談の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
厚生課	○日常の変化を見逃さず、教員全員で生徒を支援できる体制を整えるために、気づきシートの見直しや改善を行う。	○導入先進校の視察や資料収集などを行い、本校独自の気づきシートの改善を進めた。